

令和5年度第6回社会教育委員及び公民館運営審議会委員会議

日時：令和6年3月21日（木）午前10時00分～

場所：八幡市役所 5階 会議室5-2

出席：藤原委員長（スポーツ団体）、秋山副委員長（学識経験者）、眞柄委員（人権教育団体）、藤田委員（女性団体）、吉川委員（青少年育成団体）、羽野委員（学校）、辻井委員（文化団体）、榊井委員（PTA）金子委員（市民公募）、大寄委員（市民公募）、吉岡参事、勘田（生涯学習センター）、田制課長（文化財課）、小坂館長（図書館）、長尾課長（こども未来課）、小橋教育長、辻課長、梶原、鳥居（事務局）

1. 開会

2. 委員長挨拶

3. 教育長挨拶

4. 議事

<事業報告>

○第二回松花堂昭乗イラストコンテスト授賞式

日時 令和6年2月3日（土）13時00分～

場所 八幡市役所 5階 会議室5-2

○山城地方社会教育委員連絡協議会役員会

日時 令和6年3月1日（金）13時30分～

場所 京都府山城教育局

○第七回徒然草エッセイ大賞授賞式

日時 令和6年3月16日（土）13時30分～

場所 石清水八幡宮 清峯殿

出席 藤原委員長、秋山副委員長、羽野委員、眞柄委員、榊井委員、金子委員、大寄委員

<今後の予定>

○第20回男山公民館サークルまつり

日時 開会式：令和6年4月21日（日）10時00分～

展示発表：令和6年4月20日（土）13時00分～16時00分

令和6年4月21日（日）10時50分～15時00分

舞台発表：令和6年4月21日（日）10時50分～15時00分

場所 男山公民館

【内容】

<吉岡参事>

コロナ禍となった令和2年度以降、中止が続いた事業ではありましたが、令和5年度はサークル発表会という形で規模を縮小し、実施いたしました。

令和6年度については徐々に通常規模に戻しての開催となります。

本事業の当日は、さくら小学校を臨時駐車場として開放するため、お越しの際は是非ご利用ください。

5. 議題

○公民館・コミュニティセンターの令和5年度事業実績（令和6年1月31日時点）

及び令和6年度事業の基本方針について

【内容】

<生涯学習センター 勘田>

まず初めに令和5年度の事業実績から報告します。

公民館・コミュニティセンターでは、登録サークルや一般団体などへの貸館や本市の事業実施場所としての提供や公民館講座等を行っています。

令和6年1月31日時点の総利用件数は9,294件、総利用者数が100,239人となり、前年度同期と比較して、件数では268件、3%の減、人数では1,073人、1%の増となりました。

前年度比で件数が減少しておりますが、これは美濃山コミュニティセンターの空調機更新工事のため、10月に1か月間を施設利用の使用停止を行ったことが影響しています。

施設ごとの年度累計は、空調機更新工事がありました美濃山コミュニティセンターを除きましたら、利用状況が横ばい又は増加の傾向にある様子が分かります。

次に令和6年1月31日時点の総件数は、71件、総回数101回、総利用者数が1,097名となりました。前年度の同時期と比較しますと総件数では4件の増、総回数では2回の増、総人

数では 20 人の減となり、昨年とおおよそ横ばいではありますが、企画しました全ての講座を開催することができました。

サークルまつり・サークルフェスティバルは、登録サークルによる実行委員会の形式で運営を行い、サークルの展示や舞台発表などを行うものになります。そのため、開催には登録サークルの意見を尊重する行事になります。

令和 5 年度は、男山公民館・志水公民館・川口コミュニティセンターの 3 施設において、登録サークルへのアンケート調査及び実行委員会の会議等の結果により、実行委員会形式によるサークルまつり・サークルフェスティバルは中止となりましたが、代わりに希望団体のみの展示・舞台発表によるサークル発表会を実施する柔軟な対応を行いました。

また、山柴公民館では、4 年ぶりとなるサークルフェスティバルを開催することができ、延べ参加人数 880 名の実績がありました。

令和 2 年度から 3 年間、フェスティバル関係の行事を中止してきた中で、令和 5 年度は大きく前進した取り組みができたと思います。

次に、令和 6 年度の公民館等事業の基本方針（案）についてご説明いたします。

「人生 100 年時代」「超スマート社会」に向けて社会が大きな転換点を迎えるにあたり、生涯学習の拠点として公民館の役割は大きくなっております。公民館では、代表的な 5 つの機能「つどう」「まなぶ」「むすぶ」「つくる」「さがす」を発揮し、「多様な学習機会の提供」を含む 8 つの役割を果たすことが必要され、その役割を果たすためには公民館と地域の連携が不可欠であり、市民に親しまれる施設となることが求められます。

令和 5 年 5 月に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが 5 類に移行され、社会生活が徐々に落ち着きを取り戻してまいりましたが、少子超高齢社会の進展や新型コロナウイルス感染症の影響により、地縁的な絆や地域コミュニティの希薄化に拍車がかかっている現状に対し、「つどう」「むすぶ」の機能を有する公民館は、その役割が問われています。多様な講座の開設、サークルや地域住民の施設活用の促進などに取り組むことで、公民館の役割を果たしてまいります。

令和 6 年度も引き続いて、本方針に基づいて、公民館事業を進めたいと考えます。

各種講座の開設を行ない、令和 5 年度に人気がありました講座は、引き続き実施し、不人気であった講座は取りやめるなど、各館で検討します。

施設整備の取組につきましては、老朽化や破損した箇所を修繕するなど、快適性や利便性の向上に取り組めます。

以上でございます。次回の会議において令和 5 年度事業報告書と本日のご意見を踏まえた令和 6 年度事業計画書を配付する予定です。皆様のご意見をいただきたいと思っております。

<藤原委員長>

委員の皆様、ご意見等はございますでしょうか。

<秋山副委員長>

施設の利用者や講座の参加者はどの年齢層が多いですか。

<生涯学習センター 勘田>

事業等によって異なりますが、全体的に見ると65歳以上の方が多くいらっしゃいます。

<秋山副委員長>

子どもの利用や参加は多いですか。

<生涯学習センター 勘田>

夏休みの期間を利用して子ども講座を実施しております。そういった事業を行う際に多くの子どもたちに参加していただいています。

<吉川委員>

公民館講座は市役所で企画して実施していますか。また、サークル活動との違いは何ですか。

<吉岡参事>

公民館講座につきましては、基本的に公民館に勤務する職員で事業の計画を立てております。そのため、各サークルがそれぞれ活動するサークル活動とは別のものとなります。ですが、講座の内容によってはサークルの講師の方に公民館講座の講師を依頼させていただくこともあります。

<藤原委員長>

昔、男山公民館で実施されていた料理教室に参加したことがあります。そういった教室はサークル活動でしょうか。

<吉岡参事>

おそらくサークル登録をされて施設を利用されている方の教室だと思います。

<秋山副委員長>

公民館講座は無料ですか。

<吉岡参事>

基本的に無料ですが、内容によっては材料費等を徴収しております。

<眞柄委員>

私も食改で男山公民館の調理室を利用させていただいてますが、会場が無料のため非常に助かっております。

<吉岡参事>

色々なサークル様にご登録をいただいている中で年齢によって高齢者減免などを適用させていただけることもありますので、そういった措置も情報提供しながら多くの方にご利用いただきたいと思っております。

<藤原委員長>

公民館等には駐車場が少ないという問題がありますが、利用者からそういった声はありますか。

<吉岡参事>

駐車場に関する要望はあります。しかし、施設の今までの経過等もあり現段階で駐車場を拡大することは難しいと思っております。施設の大規模改修等が行われる際に駐車場の拡大も含めて検討していきたいと思っております。

<吉川委員>

公民館等は基本的に各地域の方が利用する施設のため、徒歩や自転車で来館されることが望ましいと思っております。

<吉岡参事>

公民館講座等の広く参加者を募る事業もあるため、駐車場の少なさでは利用者にご迷惑をおかけしております。ただ普段の利用については、吉川委員がおっしゃられたように自動車以外で来館いただけると幸いです。

<羽野委員>

一般利用と市の行事の違いは何ですか。

<生涯学習センター 勘田>

一般利用については登録サークルやサークル以外の団体の施設利用を指します。市の行事につきましては、本市の各課が行う事業や教室等を指しております。例えば、IT推進課が行う「スマホ教室」等の行事が該当します。

<藤原委員長>

八幡市の東部地域には公民館等の施設がなく、住民は各公民館施設に行かなければいけない。

<吉岡参事>

おっしゃるとおり現在、東部地域に公民館施設はございません。そのため、生涯学習センターの事業として、東部地区の方への出張講座として今年度も四季彩館でイベントを開催いたしました。そういった形でフォローをさせていただき、令和6年度も引き続きそういった事業の開催を予定しているところでございます。

○スキルアップ学習会について

【内容】

<事務局>

来年度のスキルアップ学習会のテーマにつきまして、委員の皆様からご希望を伺いたいと思います。講師については、事務局でリサーチし、次回以降の会議にて決定させていただきたいと存じます。

<藤原委員長>

皆さんスキルアップ学習会について、ご要望等はございますでしょうか。

<秋山副委員長>

一年間社会教育委員をさせていただいて感じたことですが、八幡市の社会教育について現状等を改めて知りたいと思いました。こういった形で八幡市の社会教育が動いているのか。そういったことを知ったうえで自分たちの事業もするべきだと思うし、他の市町と比較するにしても自分たちの市のことを知らなければ比べようがないと思います。そういった内容をただ講義として聞くだけでなく、勉強会のような形で委員の皆さんとディスカッションしながら和気藹々と学習会を行いたい。

<藤原委員長>

大賛成です。

<辻課長>

数年前に社会教育委員とは何か。というテーマで勉強会をさせていただいたこともあります。そういった形で進めさせていただくというのも一つの案かと思います。

<眞柄委員>

参加型の講義は非常に良いと思います。外部からお招きした講師の方のお話を聞くのも良いですが、私たちがグループになって参加できるような学習会なら疑問点なども話し合っ
て進められるので、ざっくばらんにお話しできるような学習会が良いと思います。

<藤原委員長>

色々な意見をいただきましたが、これまでと違った参加型の学習会は非常に良いと思います。講師を呼ぶだけでなく今後も色々な形の学習会ができれば良いと思います。

<事務局>

スキルアップ学習会につきましては頂戴した意見を基に次年度の7月開催を目標に準備を進めたいと思います。次回の定例会で講師の方や学習会の開催方法などの案を委員の皆様にご提案させていただきたいと思います。

7. 副委員長挨拶

～閉会～